

駒木会報

第9号

発行日：平成21年9月30日
発行：江戸川大学駒木会
所在地：千葉県流山市駒木474
電話番号：04-7152-0661



開学20周年記念 ホームカミング・デー開催
日本サッカー協会公認人工芝グラウンド完成！

総会にて承認

平成20年11月3日（月）、江戸川大学学生食堂「江戸屋」にて駒木会総会が行われました。グラウンドの整備（正規のサッカーコート幅の確保と人工芝化）の件へ話が及ぶと駒木会からの寄付金が¥75,000,000と巨額であるため、例年以上に中身のある質疑応答が行われました。

これに対して、サッカー部監督である鈴木秀生先生より、「グラウンドはサッカーのみに使うのではなく、他の運動部や授業でも活用していく」ことを熱く訴え理解を求め、了承を得ることができました。

なお、グラウンドはその後滞りなく工事が行われ完成。本年4月3日（金）には新グラウンドにて竣工式が執り行われ、木内英仁理事長、市村佑一学長、北原憲彦先生、前述の鈴木先生などサッカー部など関係者が出席し、テープカットを行いました。その後、総会で話があったようにサッカー部だけでなく授業での活用やアメフトなど、他部活動にも活用されております。詳細についてはブログや駒木会Webページ等をご覧ください。また、鈴木先生によれば駒木祭当日、卒業生も参加できる形で

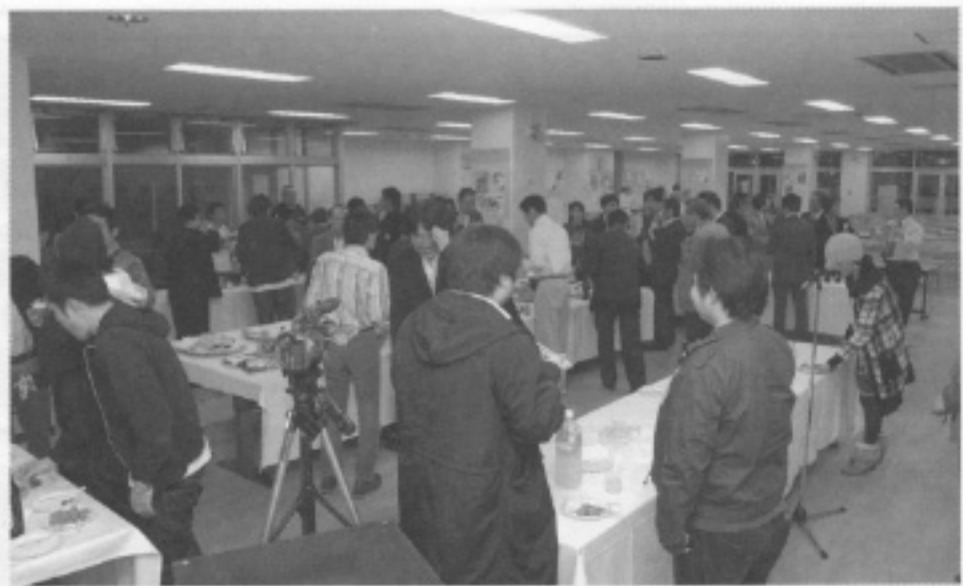
の親善試合のようなものを企画しており、こちらも詳細がわかり次第、ブログ等にてお伝えする予定です。

昨年度の総会では他に卒業生の住所追跡費用積立金の内容について質問がありました。これについては、転居・結婚等により現状の駒木会報が皆さんのお手元に届く確率が低く、その追跡調査に充てる準備資金であるとの説明を行い、了承されました。その他総会では会則の変更や会計報告等について行いましたが、これらについては特に反対意見などなく了承され、まもなく閉会となりました。

【昨年度総会での議決事項

- 平成19年度収支報告
- 会則改定
- 平成21年度予算案
- グラウンド人工芝化工事における資金の一部拠出の提案

全ての議案は承認・可決されました



昨年度総会の様子

【駒木会会則改定について】

平成20年度駒木会総会において、駒木会会則（以下会則とします）改定議案が賛成多数で承認されました。これにより、平成21年1月1日より会則を一部改定しております。

今回の改定ポイントを下記表に記します。

なお、条文については駒木会Webページをご参照下さい。
(URL <http://www.edogawa-u.ac.jp/komaki/about/rule/rule.html>)

章	項目	条	変更ポイント
第2章 会員	会員の資格と定義	第5条	江戸川大学卒業生・在学生・教職員に対し、それに見合った会員資格を与え、それぞれの者に対する会員の定義を定めました。
	入会金、会費	第6条	入会金、会費の金額を具体的に記しました。 会費の変更、納入方法等については、別途規程を設けることとしました。
	会員の権利	第8条	江戸川大学卒業生・卒業予定の者は、第6条で定めた会費を納入することにより、駒木会発行の各種サービスを享受できる旨を定めました。
第3章 役員	役員	第12条	常任理事の職を廃しました（注）。理事の定員の下限を撤廃しました。
	役員の選任及び解任	第13条	会長・副会長の選出方法を具体化しました。 会長は新体制発足時に、駒木会の運営方針を発表する旨を定めました。 理事と評議員の兼任禁止を解除しました。 役員の解任は、任期満了時または総会の2/3以上の要求により成立する旨を定めました。
	役員の職務及び権限	第14条	監査内容に不適正な事項が確認された場合、監事は臨時総会を召集できる旨を定めました。 評議員の職務の中で、「同期の会員との連絡に当たる」項目を削除しました。
第4章 会議	総会	第17条	総会での議長選出に関する記述を削除しました。
	総会での決議事項	第18条	項目を「総会への報告」から「総会での決議事項」に変更しました。 総会での決議事項、決議方法を定めました。
	評議員会	第23条	評議員会の役割・議長・会の成立、決議方法等について、まとめて定めました。
第6章 事務局	事務局	第27条	事務局に関する規定は、別途設けることとしました。
第7章 資産及び会計	資産の構成	第28条	金品のみならず、備品や個人情報についても、資産として定義しました。
	出金	第29条	出金に関する規程は、別途設けることとしました。
	情報資産の管理	第31条	個人情報の取り扱いについて、個人情報保護宣言に基づいて管理する旨を定めました。

（注）常任理事の役職を廃したため、常任理事会に関する項目は全て削除いたしました。

【ホームカミング・デー開催のご案内】

大学の学園祭開催に合わせ、駒木会共催事業として「ホームカミング・デー」を下記の通り実施いたします。

今年はタレントの清水ミチコさんをお招きしての楽しいトーク＆ライブを開催いたします（詳細についてはWebページ、同封のチラシをご覧ください）。

駒木会総会、交流パーティーは、今年は装いも新たにA棟（本部棟）8階にて開催し、退職された先生方もお招きして、近況報告や当時の学生生活などを大いに語らっていただけるよう準備をしております。

ご家族連れてのご出席も歓迎いたします。

ご多忙のこととは存じますが、当日は同窓生などお誘い合わせの上、是非ご出席ください。

■総会・交流会パーティー日程

日 時：11月3日（火・祝）午後4時30分～
場 所：A棟（本部棟）8階 会議室にて

■トーク＆ライブ日程

テーマ：平成青春グラフティ
日 時：11月3日（火・祝）午後3時～4時
場 所：B棟（図書館棟）1階
メモリアルホールにて

駒木会活動報告 (平成20年8月～平成21年8月)

- 平成20年9月30日
会報第8号を発行しました。
- 平成20年11月3日
第9回駒木会総会・懇親会を開催しました。
- 平成21年3月12日
「サッカー部・女子バスケットボール部合同 4年生を送る会」に出席し、駒木会への参加の呼びかけを行いました。
- 平成21年3月16日
「卒業記念パーティー」に参加し、駒木会の趣旨と会費納入、そして駒木会への参加について呼びかけを行いました。
- 平成21年3月28日
役員選挙を実施し、新体制を決定しました。
- 平成21年4月1日
役員選挙の結果を受け、新体制が発足しました。
- 平成21年5月
グラウンド改修事業の駒木会出資分として、大学側へ￥75,000,000の提出を行いました。
- 平成21年5月29日
駒木会会长が江戸川学園評議員会へ出席しました。
※この他に月1回理事会・評議委員会を開催しました。

平成20年度収支報告

平成20年度 江戸川大学駒木会収支報告書

平成21年3月31日

品目(備考)	金額
前年度繰越金 合計	¥139,186,666-
収入の部	
第16期生分校友会費(終身5・5ヶ年40)	¥395,000-
校友会費(終身1・5ヶ年1)	¥35,000-
利息合計	¥182,701-
合計	¥612,701-
支出の部	
第8回同窓会報および 第9回総会案内発送費	¥550,450-
平成20年11月3日分懇親パーティー代	¥100,840-
払込書印字サービス代	¥20,100-
合計	¥671,390-
平成20年度への繰越	¥139,127,977-

会費納入のお願い

駒木会は、会員の皆様にご納入いただいた会費によって運営されています。未納の場合は、どうぞお振込をお願いいたします。納入にあたって2種類の会費をご用意しております。また寄付も受付ておりますので、ご都合のよい金額をお選びください。

永年会費：¥30,000 (今後会費納入の必要は一切ございません)
5ヶ年会費：¥5,000
寄付金：¥5,000 (一口)

会費ご納入は郵便局から。
駒木会会費につきましては、郵便局にある払込取扱票に以下の項目をご記入のうえご納入ください。

払込取扱票記入事項
■口座番号：00110-3-67407
■加入者名：江戸川大学駒木会
■金額：振込金の総額
■通信欄：払込金内訳。卒業生ご本人の現在のお名前と住所、在学当時の学籍番号(送付封筒に記載しております)
■支払住所氏名：会費をご納入された方のお名前と住所

お手数をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

任期満了に伴う役員選挙の実施について

昨年の駒木会総会及び駒木会Webページ上でお知らせしていましたとおり、平成21年3月28日の江戸川大学駒木会評議委員会において、任期満了に伴う役員選挙を実施しました。その結果、会長に阿見宏一、監事に林香織及び渕一憲を信任いたしましたので報告します。

執行部役員人事

平成21年4月1日付で江戸川大学駒木会執行部役員の人事は下記の通りとなりました。任期はすべて平成25年3月31日までです。

役職	氏名	期	卒業学科
会長	阿見 宏一	第3期	応用社会学科
副会長	岡田 有輝	第9期	応用社会学科
	関沼 洋平	第12期	マス・コミュニケーション学科
事務局長	大中 二郎	第3期	応用社会学科
	石井	第1期	マス・コミュニケーション学科
理事	野口	第6期	応用社会学科
	宮崎	第7期	マス・コミュニケーション学科
	小川	第13期	マス・コミュニケーション学科
監事	林	第9期	マス・コミュニケーション学科
	渕	第11期	マス・コミュニケーション学科

駒木会会长就任にあたって

社会学部応用社会学科 3期 阿見 宏一

今年4月より4年間、駒木会会长を務めさせていただくことになりました、阿見宏一と申します。

駒木会は、役員として新たな仲間も加わり、総計10名(会長1、副会長2、理事4、監事2、事務局長1)で活動しております。駒木会発足時から運営に携わった吉村前会長をはじめとする諸先輩方の功績を継承しつつ、従来の枠にとらわれない発想で、新たな一步を踏み出しつつあります。

今まででは、総会・懇親会の開催、会報の作成、会費の徴収が主な業務でした。多くの卒業生の方からは、「活動内容が総会と会報発行だけではつまらない」、「駒木会って何をやっているのか分からない」という声を耳にします。今後は、「もっと目に見える」形で活動を行い、一つ一つ結果を残していく必要があると考えています。

一人でも多くの卒業生、教職員の方々に駒木会を認知していただきため、卒業記念パーティーにおける周知活動、ホームページやブログによるインターネットを介した情報の発信により、駒木会の活動を積極的に紹介しています。

平成22年3月に開学20周年を迎ますが、それにあたっての記念事業であるグラウンドの人工芝化においても、大学側との協議や理事会内の検討を重ね、¥75,000,000の援助を行ってきました。現在は、サッカーパークやアメフト部などの部活動や体育の授業において積極的に利用されており、各方面より感謝のお言葉を頂戴しております。

今後は、大学図書館やサテライトセンターで利用できる「KOMAKI Card」の発行、大学との共催で開学20周年を記念した各種イベントの実施を計画しております。更には、新旧教員・大学・卒業生・在学生との相互交流ができる催しや、Webコンテンツの充実など、相互のコミュニケーションを図るために架け橋となる組織を目指していきたいと考えております。

駒木会は、卒業生の皆様からの会費によって成り立っています。卒業記念委員会の皆様のご協力や、駒木会による卒業記念パーティーでの周知活動により、会費納入者は以前に比べて増加傾向にあります。しかし、全卒業生に対する会費納入者の割合は約1割程度と、まだ少ないのが現状です。

皆さんにとって大学は、数多くの思い出を作ってきたと共に、社会へ羽ばたくための準備をしてきた場でもあります。大学が更なる発展を遂げて、卒業生の皆様が10年後、20年後と、年を重ねるごとに江戸川大学の卒業生であることに誇りを持っていただけるようにしていきたいと思います。是非とも駒木会の活動をご理解の上、会費納入をお願いすると共に、一人でも多くの方に駒木会の運営にご参加いただければと思います。

「駒木会」が誕生してから8年が経過、組織としての形が整いつつありますが、まだまだ未熟な組織です。今後とも、皆様からのご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

江戸川大学開学20周年に寄せて

江戸川大学は、平成22年4月に開学20周年を迎えます。

私たち卒業生が4年間育ってきた学び舎が、このような節目を迎えることに対し、大変喜ばしく感じるとともに、大学に対し、卒業生を代表してお祝いの言葉を述べさせていただきたいと存じます。

駒木会も平成14年4月の発足以来、微力ながらも大学の発展に寄与してまいりました。少子化の影響により、大学を取り巻く環境は一段と厳しさを増しますが、今後も引き続き大学の発展に寄与してまいりたいと考えておりますので、よろしくご支援の程お願い申し上げます。

今年度から来年度にかけ、開学20周年を記念した各種イベントが展開されます。

平成22年4月に、大学開学20周年記念式典が執り行われる予定です。駒木会も、「卒業生代表」として式典に出席し、20年の歴史を振り返ると共に、今後の更なる発展を大学職員の皆様と共有していきたいと考えております。

駒木会といたしましても、来年度の総会時には「祝 江戸川大学開学20周年記念」と銘打ち、高等教育機関にふさわしく、かつ卒業生の皆様の今後のビジネスや生活に役立つイベントの企画を考えております。イベントの詳細につきましては、詳細事項が決定次第、

次回会報または駒木会Webページ等でお知らせしますので、ご期待ください。

なお今年は、11月3日の学園祭当日に、タレントの清水ミチコさんをお招きし、楽しいイベントを予定しております。こちらも詳細事項が決定次第、駒木会のWebページでお知らせいたしますので、是非チェックしてみてください。

特に今年と来年は、恩師や大学時代の多くの仲間との再会もでき、4年間の大学時代の思い出や近況報告などで話が弾むような一日になればと考えております。イベント、駒木会総会・懇親会への卒業生の皆様のご参加、心よりお待ち申し上げます。

KOMAKI Cardについて

以前にご案内しましたKOMAKI Cardの発行が開始されました。発行の依頼をいただいていた方よりカードの発送をしております。KOMAKI Cardは現時点では以下の特典のみサービスを開始致しましたが、今後サービスを拡張して参ります。会員向けの特典をご用意いただける会社がございましたら是非事務局までご一報ください。

■特典

- ・江戸川大学総合情報図書館の利用
- ・サテライトセンター（旧エクステンションセンター）の利用

※上記施設では登録のため初回のみ身分証明書（運転免許証）などで本人確認させていただきます。

詳しくは以下のWebページでご紹介しています。
インターネットで「KOMAKI Card」で検索して以下サイトをご覧ください。

<http://www.edogawa-u.ac.jp/~komaki/graduate/card.html>



心理学と看護 平成20年度人間社会学科卒業生 逆井 麻利

私は江戸川大学入学期には12年間看護師として働いていました。その中で終末期の患者さんに関わることが多く、身体的・精神的苦痛を軽減させていただくことの難しさを常に感じていました。特に患者さんと家族の精神面を支える職務を担っている看護師として、更に人間の心理を深く理解する必要性を感じ、江戸川大学の人間社会学科に編入学をしました。在学中は『こころの病』のメカニズムと対応、カウンセリング技術などを特に中心に学びました。そして、再び職場復帰してからも重要なと思われた、メンタルヘルス・マネジメント検定を受験し2種を取得しました。

私は大学に入学する以前は一般病院のみの勤務経験しかなかったのですが、現在は大学で学んだことを生かしながら精神科病棟に勤務しています。全く経験がなかった精神科に勤務するのは大変不安でしたが、広い視野で患者さんの状態を観察し、患者さんのベースに合わせた会話のタイミングや声のトーンなど在学中に学習したことを実践するうちに、向こうから私に興味を持ってコミュニケーションしてくださるようになりました。精神疾患を抱えている患者さんはとてもデリケートであるため、看護師のことも非常によく観察しています。看護師が元気のない顔をしていると患者さんが心配してしまいますので、心身ともに元気で仕事を遂行しなければなりません。そのため自分自身や周りのスタッフのメンタルヘルスの維持・促進することが必要であり、江戸川での学びを生かすべく日々研鑽を積んでいます。

江戸川大学奨学金の運用状況について

平成19年に駒木会から出資して設立された「江戸川大学奨学金」ですが、過去2年間の運用状況を鑑み、平成21年4月より運用方法が変更されました。

主な変更点としては、貸与額、貸与方法が変更され、半期ごと年間￥200,000までの貸与から、後期一括￥60,000の貸与となりました。

これに伴い、採用人数を年間30名から10名、利用回数が2回までに変更されることになりました。

この貸与額・貸与方法の変更により、学生一人あたりの貸与額が増え、日本学生支援機構の奨学金貸与を受けることができなかつた学生に対しても、江戸川大学独自に手厚い経済的支援を行うことができるようになりました。

また、昨今の経済状況から、経済的な理由により1年次の海外研修に参加できない学生が増加しており、そういう学生への支援として新たに￥300,000（採用人数3名以内）を貸与する奨学金が設けられました。

これにより、従来であれば海外研修への参加を経済的な理由によってあきらめなければならなかつた学生にも、海外研修に参加できる道が開かれたことになります。

運用実績としては、平成19年度が6名、平成20年度が3名でしたが、今回の変更により、江戸川大学奨学金利用者の増加が見込まれます。

目覚めよ知的好奇心 マスコミュニケーション学科教授 濱田 逸郎

若い日の私は、まったく勉強せずに遊びまわる怠惰な学生でした。

40年ほど前の大学は、今ほど出席にうるさくないこともあり、毎日のように仲間と麻雀荘に入り浸っていました。

大学を卒業し広告会社に入社した私は、5年ほどして母校を担当する営業になり、再び大学に足を運ぶことになったのです。

遅い春のある日、時間が余った私は何の気なしに教室に入り、たまたまそこで行われていた授業に耳を傾けたのです。

衝撃的な経験でした。授業の内容が良くわかったし、しかも面白かったです。

たまたま面白い授業だったということでしょう。しかしそれ以上に、5年間の社会人としての経験が授業への理解力や共感力を高めてくれたのです。

私は4年前からマスコミ学科で教鞭をとる一方、サテライトセンターの所長を務めていますが、大学時代に授業をサポートしていた私が後日教員に転身するきっかけのひとつが、この晩春の衝撃でした。

今日、生涯学習の重要性が叫ばれる理由がここにあります。学生のみならず、社会人や定年後のシルバー層など社会のさまざまな対象の知的好奇心に応えることも、大学の重要な社会的役割なのです。

江戸川大学の「サテライトセンター」は、地域のみなさまを主対象とした社会人学習の施設として、昨年より流山おおたかの森駅に隣接して開設されています。駒木会の会員は優待制度により半額で受講できます。

さまざまな講座を開講していますので、何かのついでにぜひのぞいてみてください。あなたに衝撃を与える運命のプログラムが含まれているかもしれません。

会報への投稿、駒木会運営に参加してくれる方を募集しています

駒木会では、会報に掲載する原稿の投稿を受け付けております。駒木会運営に関するご提案やご意見、母校への提言や後輩へのエールなど、大学に関することなら内容は自由です。こちらで内容を確認次第、折り返しご連絡をいたします。よりよい会報

作りにご協力をお願いいたします。
また本会運営に役員、スタッフとして参加してくれる方を募集しています。興味のある方は、駒木会事務局までご連絡ください。今後の活動スケジュールなどについてご説明いたします。

■投稿送付先（本会に関するご意見、会報のご感想もこちらまで）

〒270-0198 千葉県流山市駒木474 江戸川大学

駒木会事務局

■お問い合わせ

TEL: 04-7152-0661 (江戸川大学代表)

江戸川大学事務局 大中 (おおなか)

■駒木会Webページ

URL: <http://www.edogawa-u.ac.jp/komaki/>

■駒木会直通メールアドレス komaki@edogawa-u.ac.jp